

事業コンセプト／計画概要

渋谷駅東口で誰もがめぐり歩いて楽しい
回遊性のあるまちの実現を目指します

宮益坂地区は、渋谷駅の東側に隣接し、宮益坂、明治通りに面する交通便利性の高い場所に位置する、約1.4haの区域となり、本事業は、東京圏の国家戦略特別区域の特定事業として内閣総理大臣による認定がなされています。

宮益坂地区のある渋谷駅東口方面は、駅前にふさわしい都市基盤が十分に整備されていないことや、地形の高低差および幹線道路によりまちの分断が生じていることなどが課題となっています。本事業では、これまで渋谷駅中心地区で進められてきた駅施設の更新や再編に続き、渋谷駅周辺地域への交通結節点としての役割を担うとともに、大山街道環境整備事業（※）が目指す賑わいあふれる街並み形成に寄与する空間整備などを行います。また、渋谷エリアに不足する大規模なホール・カンファレンスおよび国際水準の宿泊滞在施設の整備や、官民連携の産業育成支援施設を創造することで、東京の代表的なビジネス・交流拠点の一つとなり、世界をリードする国際ビジネス交流都市・東京渋谷の発展に寄与することを目指します。加えて、本地区内に所在する御嶽神社を建て替え、再整備することで、街の文化の継承を図ります。

※宮益坂、道玄坂を歩行者中心の道路空間へ再整備することを目指す、渋谷区が進める事業



外観イメージパース（渋谷駅方面より宮益坂地区を望む）
左：A街区 中央：B街区 右：渋谷ヒカリエ



整備するアーバン・コアと地下広場および上空通路のイメージパース

◆ 立体的な都市基盤の整備

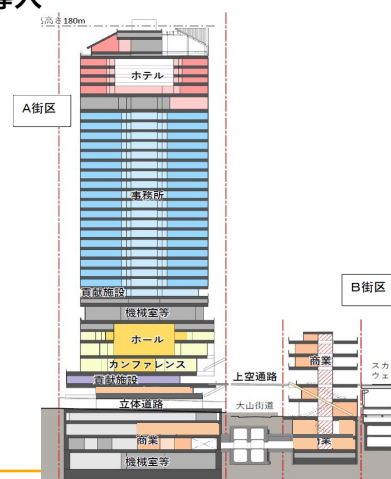
- 渋谷駅とのつながりを強化した都市基盤および周辺地域への多層にわたる歩行者ネットワークの整備を図るとともに、多様な都市機能の集積と、多様な人々が活動し、安全・安心・快適で、誰もがめぐり歩いて楽しい回遊性のあるまちの実現を目指す

◆ 国際ビジネス交流都市の発展に寄与する都市基盤の整備および都市機能の導入

- 渋谷エリアに不足する規模のホールおよび不足するグレードの宿泊滞在施設や、官民連携の産業育成支援施設を整備することで、代表的なビジネス・交流拠点の一つとして世界をリードする国際ビジネス交流都市の発展への寄与を目指す

◆ 環境負荷の低減と防災力の強化

- 建物の省エネルギー化やエネルギー利用の効率化に取り組むとともに、利用エネルギーの脱炭素化を中長期的に目指すことで、環境負荷低減を図る
- 災害時における帰宅困難者受入施設や防災備蓄倉庫などの整備により、地域の防災対応力強化を図る



用途配置図

建物の概要

事業主体	宮益坂地区市街地再開発組合 (東急株式会社は参加組合員として参画)
所在地	東京都渋谷区渋谷一丁目及び二丁目各地下
用途	事務所、宿泊滞在施設、店舗、ホール、カンファレンス、神社、産業育成支援施設等
施工面積	約1.4ha
敷地面積	約10,870㎡
延床面積	約201,300㎡

階数	A街区：地上33階 B街区：地上7階 C街区：地上2階
高さ	180m（A街区）
着工	2027年度（予定）
竣工	2031年度（予定）

地下3階
地下2階
地下1階